

【市長との地域懇談会 記録】

開催日 平成 29 年 1 月 12 日（木）

地区 神社小学校区

会場 神社小学校図工室

参加者数 14 人



《質問・意見》

犬の散歩マナーがひどく、糞害に困っている。
飼育するものから税をとったり出来ないか？
広報でも取り上げて欲しい。

《回答》【市長】

飼い主のモラルを上げるしかない。全市的にPRしたい。

《質問・意見》

市は、神社地域をどのような地域にしたいのか？
馬瀬狂言なども観光（まちづくり）資源に出来ないか？

《回答》【市長】

都市マスタープランにてウォーターフロント的な構想になっている。
時代に応じた変化に対応できるよう地域の声を取り入れて行きたい。
文化資源は他の地域との協同も考えてほしいし、まちづくり協議会として取り組んだらどうか。皇學館大學などの取組みもあるので、後継者問題などは市全体で考えて行きたい。
小学校の社会体験なども検討したい。

《質問・意見》

地域として各町に一箇所ずつ防犯カメラを設置した。県のガイドラインに対してどのような取組みをするのか？
せめて各小学校に1台は設置してほしい。

《回答》【市長】

公道は肖像権の問題もあるので難しいが、施設の中では可能。
国の財源を考慮して検討していく。

《意見》

御菌中学校でのバトミントン活動の際、車上狙いに遭い、大変な被害を蒙った。小学校
だけと言わず中学校もつけてほしい。

《質問・意見》

地元に残りたい若者も多いが企業誘致は進んでいるのか？ハコ物建設が多すぎないか。
国補助といっても結局はわれわれが負担している。
後世に付けを回すべきでない。大湊小と神社小の合併も神社小の現校舎を使えばいい。

《回答》【市長】

製造業の誘致が難しい時代である。工業団地も不足してきているので、新たな団地を造
るべきか検討している。

(病院の建設を急ぐなど言うが) 地域医療の崩壊は連鎖する。公共施設は、新設にこだわ
らず、使えるものは使っていく。

《質問・意見》

小木町は津波で逃げるところが無い。

市民が憩える公園がない。五十鈴公園を使うにしても市民のみ駐車料金が免除になら
ないのか？

《回答》【市長】

津波時にはララ・パークへ逃げてほしい。

(内宮エリアの) 無料券配布も研究したが、まだ答えが出ていない。

《意見》

小学校で導入される英語教育は、是非、ネイティブにお願いしたい。最初に本物の英語
に触れ、きっちりした授業にして欲しい。

男女共同参画アンケートの設問設定がおかしい。「男は仕事、女は家庭」というのも
一つの形態として尊重すべきである。

《質問・意見》

還付金詐欺などが横行しているが、必ず申請しなければならないところに問題がある。対象者は決まっているのだから、手続きを省略できないのか？

《回答》【市長】

効率的にできる事務手続きにしたい。

《質問・意見》

神宮域の砂利の上を車椅子で押すことが出来ない。端に舗装など出来ないか。

《回答》【市長】

砂利道に対応した新しい車椅子も出てきているし、ボランティアスタッフもいる。舗装については、神宮に要望する。

《質問・意見》

生活保護の急増が報道されているが、伊勢市の場合、どれくらいの規模（人数・金額）なのか？

《回答》【市長】

生活保護者や保護受給周辺の方が自立できるよう担当課がバック・アップしている。生活保護世帯数、金額については、後日、回答する。

《質問・意見》

生活保護者など生活弱者の異動があっても民生委員に連絡が無い。情報が少なく活動がしづらい。

《回答》【市長】

個人情報保護などの絡みがあるので難しい問題であるが、市長会などへ要望していきたい。